



080453-000-4

特19-292

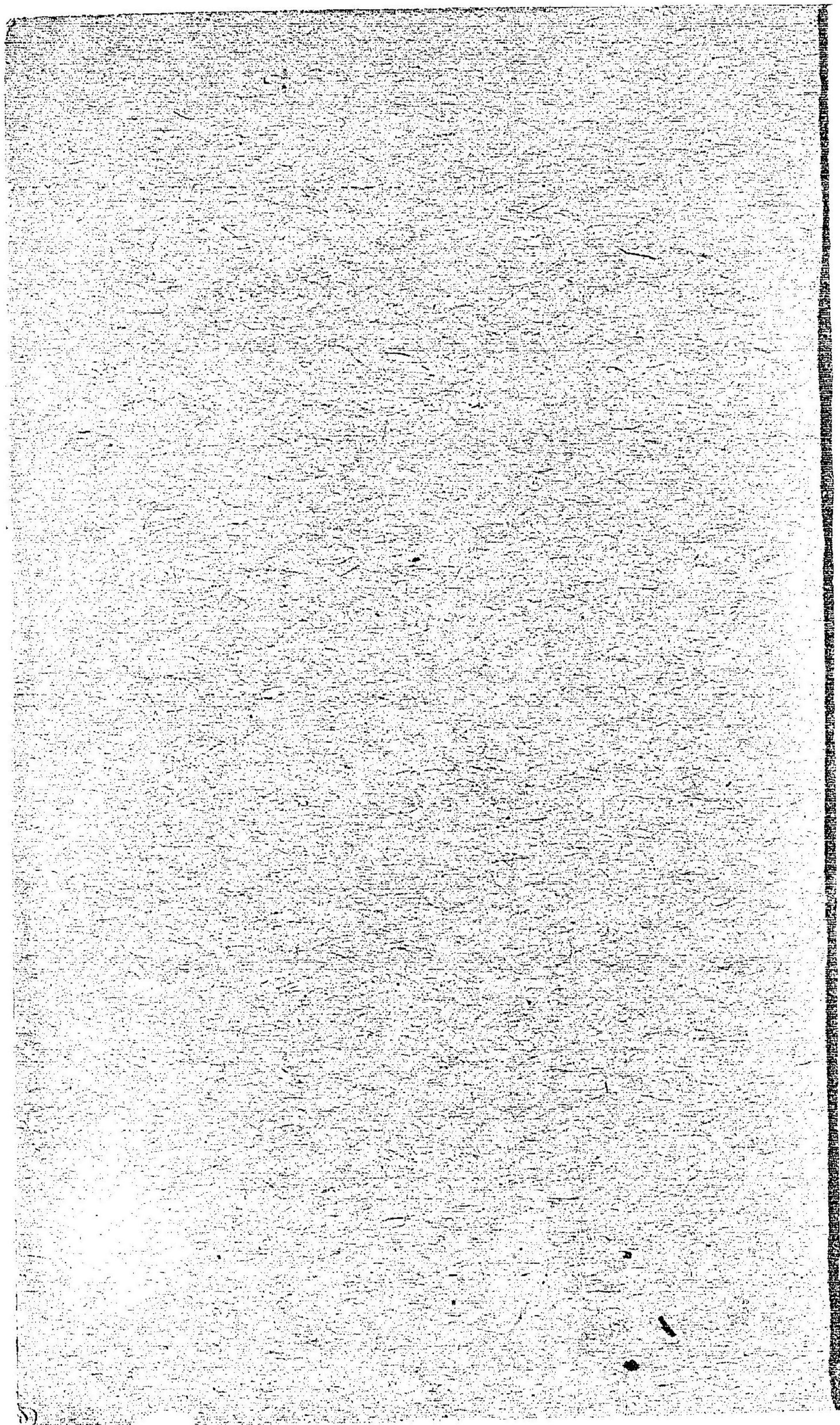
はがき新用文

富本 長洲 / 著

M42

DAC-4651





はかき新用文

目次

第一編 普通日用文例

第一 四季文

- 年始の文……………一
- 同返事……………二
- 新年に人を招く文……………四
- 同返事……………五
- 親梅誘引の文……………七
- 同返事……………八
- 春季皇靈祭に出遊を促がす文……………九
- 同返事……………一〇

○暑中見舞の文……………三

○同返事……………三

○親楓に人を誘ふ文……………四

○同返事……………六

○寒中見舞の文……………七

○同返事……………六

○歳末祝詞の文……………九

○同返事……………三

第二 慶吊文

○新築移轉を賀する文……………三

○同返事……………四

○婚姻を賀する文……………六

○出産を賀する文……………七

- 同返事……………元
- 勳章拜受を賀する文……………元
- 同返事……………三
- 開店を賀する文……………三
- 同返事……………三
- 賀壽の文……………三
- 同返事……………三
- 誕生日に客を招く文……………三
- 同返事……………三
- 鎮守祭に人を招く文……………三
- 同返事……………三
- 年回りに人を招く文……………三
- 天長節に客を招く文……………三

- 同返事……………四
- 病氣見舞の文……………四
- 同返事……………四
- 類焼見舞の文……………四
- 同返事……………四
- 洪水見舞の文……………四
- 同返事……………四
- 大風見舞の文……………四
- 同返事……………四
- 病死報知の文……………四
- 同返事……………四

目次 (終)

片假名

イロハニホヘト
チリヌルヲワカ
ヨダレソツ子ナ
ラムウキノオク
ヤマケフコエテ
アサキユメミシ
エヒモセスン
ノ片

和音五十韻

はかき新用文

第一編 普通日用文例

(第一) 四季文

○年始の文

改曆の御吉慶目出度申納候貴家皆
々様愈御多祥御超歳遊ばされ奉賀
候次に拙宅一同無異加年仕候間乍

富本長洲

アイウエオ (喉音)
 カキクケコ (牙音)
 サシスセソ (齒音)
 タチツテト (舌音)
 ナニヌネノ (鼻音)
 ハヒフヘホ (唇音)
 マミムメモ (唇音)
 ヤイエエヨ (牙音)
 ラリルレロ (舌音)
 ワキウエヲ (唇音)

平假名

憚御休心可被下候扱客歳中は御懇
 情を蒙り萬謝仕候本年も不相變御
 愛顧願上候先は年頭御祝詞申述度
 如此に御座候謹言

(類語) 新春の御慶、新禧、千里全風、益御清福
 高堂御捕、御重歳相成、迎年仕り、尚ほ倍舊の御
 引立に預り度、年始の御祝詞迄、不相替御引立の
 程 頓首

○全返事

いろはにほへと。
 ちりぬるをわか。
 よたれうつねな。
 らむうゐのれく。
 やまけふこゑて。
 あさきあめみし。
 るひもせずん。

變體假名

ハシタノハシタノ
 ちあきそは新取。

尊翰拜誦仕候如仰新年之吉慶御全
 様目出度奉賀候先以御全家倍御清
 榮御迎年相成候由珍重之至に存候
 降而弊屋一同無事越年仕候間乍慮
 外御安意可被下候扱昨年中は御厚
 情に預り當方より拜謝可仕候處反
 て御懇命を蒙り汗顔の至りに御座
 候尚ほ本年も倍舊の御交情奉祈候

良字并れおを。
るは茶ぬまえて。
ゆきたゆ先見え。
及心を好むと。

眞名

以呂波仁保邊止。
知利奴留遠和加。
與太禮會津彌奈。
良武宇井乃於久。
也未計不已江天。
安左幾由女美之。

拜復

(類語) 芳書謹讀、如貴諭、如貴命、新禧之嘉祥
彌御清福、欣喜際限不可有候、早々御祝被下、是
より御伺可申之處却て御祝章を賜り、一層の御眷
顧、不相變御厚情願上候

○新年に人を招く文

寸書拜呈新年の祝意を表し且は戰
後始めての平和を祝するため明五
日新年宴會の當日をトし充分の快

惠飛毛世寸

英字眞字

エ A B C D E F
エ G H I J K L
エ M N O P Q R
エ S T U V W X
エ Y Z
y z s t u v w x m n o p q r g h i j k l a b c d e f

談を試み度候に付別に佳肴美酒の
用意無之候へども鮮肉及び一樽備
置候間正午頃より必ず御來車被下
度御案内申上候不一

(類語) 尺素拜呈、萬事簡畧を旨とし、觀會を催
度、粗酒一献差上度、何の饗應も不仕候得共、知
人兩三名相招き、新春の祝杯を傾け度、御縁合せ
御光來、他に御差支無之候はゞ、御來駕待上候

○全返事

行字

y	s	m	g	a	ワ	S	M	G	A
z	t	n	h	b	Y	T	N	H	B
	u	o	i	c	ス	U	O	I	C
	v	p	j	d	シ	V	P	J	D
	w	q	k	e	フ	W	Q	K	E
	x	r	l	f	ズ	X	R	L	F

拜復明五日の宴會へ御招の懇書に
 接し欣然拜承仕候貴諭の如く日露
 戦役も我國の勝利にて修局に歸し
 候初めての新年に付大に祝意を表
 し度存居候處先鞭を付けらる態々
 との御使恐入候乃ち敢て御辭退も
 不仕雀躍貴命に應じ御示の刻推參
 可仕候唯今來客中亂筆御海容被下

草字

m	i	e	a	ワ	ユ	キ	エ	ア	イ	エ
n	j	f	l	シ	フ	ル	ン	セ	フ	フ
o	h	g	c	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
p	l	h	d	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ

度候不備

(類語) 雅會御催の由にて御佳招を蒙り、洗手拜
 讀、不圖御馳走に預り候事、必ず御伺ひ申上、餘
 は拜芝の上に譲り可申、万饒可仕候

○觀梅誘引の文

拜啓昨日某氏より來狀有之來る幾
 日觀梅の小宴を催に付貴兄を同伴
 致し呉れとの申越し幸ひ日曜日に
 も候へば萬障繰合せ御全道被下度

g
o
o
o
o
o

英字以呂波

イ i ro ha ni ho
ヘ he to chi ri x
ル ru wo wa ka yo
タ ta re so tsu ne
ナ na ra mu u i
ノ no o ku ya ma
ケ ke fu ko ye te
ア a sa ki yu me
ミ mi shi ye hi mo
セ se su n

最も某氏は御承知の好吟家に候間
定めて即席の課題も可有之と存候
詩韻等御携帶可然歟先は御誘引迄
如此御座候頓首

(類語)

昨今某梅林の梅満開之由、此頃漸く咲初
候赴、明日の祭日を卜し、觀賞候ては如何、探梅
致度、御用閑にも候はゞ、御全行仕度、御都合如
何に候哉

○全返事

英字濁音
及半濁音

ガ ga gi グ gu ゲ ge コ go
ザ za ジ ji ズ dzu ゼ ze ソ zo
ダ da ナ ji ヅ dzu テ de ド do
バ ba ビ bi ア bu ヱ be ボ bo
パ pa ピ pi プ pu ペ pe ポ po

數字

一、二、三、四、五、六、
七、八、九、十、百、千、

桑雲披見某氏の好意に依り觀梅御
誘引に預り謹諾仕候貴命の如く某
氏は聞及ふ詩文家に候へば必ず即
吟の課題も可有之候然し御互に臨
機トキの所置可然反て歌集等携帶も一
興キョウと存候先は御請のみ早々拜具

(類語)

某氏の案内に依り、欣喜此事に候、詩歌
俳句の遊び、御逸興想ひやられ候、雅席を汚し可

萬、億、兆、

小數數字

分、釐、毛、絲、忽、微、
纖、沙、塵、埃、渺、漠、

算用數字

0、1、2、3、4、
5、6、7、8、9、
零、一、二、三、四、
五、六、七、八、九、

羅馬數字

申候 無風流之拙者 無能の小生 深く耻入候へ
ども未班を汚し可申 何れ拜眉の上萬縷可仕候

○春季皇靈祭に出遊を促す文

一書拜呈明日は春季皇靈祭且つ彼
岸中日にて春暖稍相催し散歩の好
季に向ひ候間郊東を所々逍遙仕候
も亦一興と被存候就ては午前十時
頃より御出掛相成らず候哉御都合

も可有之と存じ御誘引かたぐ得

貴意度候拜具

(類語) 季候麗かなる時分柄 郊遊も愉快と存候
春風駘蕩の好時節 御先約も未だ無之候はゞ 是
非共御供申上度

○同 返事

拜復明二十日春季皇靈祭の當日を
トし墨堤散歩の御企にて御誘引被
下候段奉鳴謝候然る處當日は生憎

一	I	七	VII	一	I
二	II	八	VIII	二	II
三	III	九	IX	三	III
四	IV	十	X	四	IV
五	V	十一	XI	五	V
六	VI	十二	XII	六	VI
十三	XIII	十三	XIII	七	VII
十四	XIV	十四	XIV	八	VIII
十五	XV	十五	XV	九	IX
十六	XVI	十六	XVI	十	X
十七	XVII	十七	XVII	十一	XI
十八	XVIII	十八	XVIII	十二	XII
十九	XIX	十九	XIX	十三	XIII
二十	XX	二十	XX	十四	XIV
二十一	XXI	二十一	XXI	十五	XV
二十二	XXII	二十二	XXII	十六	XVI
二十三	XXIII	二十三	XXIII	十七	XVII
二十四	XXIV	二十四	XXIV	十八	XVIII
二十五	XXV	二十五	XXV	十九	XIX
二十六	XXVI	二十六	XXVI	二十	XX
二十七	XXVII	二十七	XXVII	二十一	XXI
二十八	XXVIII	二十八	XXVIII	二十二	XXII
二十九	XXIX	二十九	XXIX	二十三	XXIII
三十	XXX	三十	XXX	二十四	XXIV
三十一	XXXI	三十一	XXXI	二十五	XXV
三十二	XXXII	三十二	XXXII	二十六	XXVI
三十三	XXXIII	三十三	XXXIII	二十七	XXVII
三十四	XXXIV	三十四	XXXIV	二十八	XXVIII
三十五	XXXV	三十五	XXXV	二十九	XXIX
三十六	XXXVI	三十六	XXXVI	三十	XXX
三十七	XXXVII	三十七	XXXVII	三十一	XXXI
三十八	XXXVIII	三十八	XXXVIII	三十二	XXXII
三十九	XXXIX	三十九	XXXIX	三十三	XXXIII
四十	XL	四十	XL	三十四	XXXIV
四十一	XLI	四十一	XLI	三十五	XXXV
四十二	XLII	四十二	XLII	三十六	XXXVI
四十三	XLIII	四十三	XLIII	三十七	XXXVII
四十四	XLIV	四十四	XLIV	三十八	XXXVIII
四十五	XLV	四十五	XLV	三十九	XXXIX
四十六	XLVI	四十六	XLVI	四十	XL
四十七	XLVII	四十七	XLVII	四十一	XLI
四十八	XLVIII	四十八	XLVIII	四十二	XLII
四十九	XLIX	四十九	XLIX	四十三	XLIII
五十	L	五十	L	四十四	XLIV
五十一	LXI	五十一	LXI	四十五	XLV
五十二	LXII	五十二	LXII	四十六	XLVI
五十三	LXIII	五十三	LXIII	四十七	XLVII
五十四	LXIV	五十四	LXIV	四十八	XLVIII
五十五	LXV	五十五	LXV	四十九	XLIX
五十六	LXVI	五十六	LXVI	五十	XL
五十七	LXVII	五十七	LXVII	五十一	XLI
五十八	LXVIII	五十八	LXVIII	五十二	XLII
五十九	LXIX	五十九	LXIX	五十三	XLIII
六十	LXX	六十	LXX	五十四	XLIV
六十一	LXXI	六十一	LXXI	五十五	XLV
六十二	LXXII	六十二	LXXII	五十六	XLVI
六十三	LXXIII	六十三	LXXIII	五十七	XLVII
六十四	LXXIV	六十四	LXXIV	五十八	XLVIII
六十五	LXXV	六十五	LXXV	五十九	XLIX
六十六	LXXVI	六十六	LXXVI	六十	XL
六十七	LXXVII	六十七	LXXVII	六十一	XLI
六十八	LXXVIII	六十八	LXXVIII	六十二	XLII
六十九	LXXIX	六十九	LXXIX	六十三	XLIII
七十	LXXX	七十	LXXX	六十四	XLIV
七十一	LXXXI	七十一	LXXXI	六十五	XLV
七十二	LXXXII	七十二	LXXXII	六十六	XLVI
七十三	LXXXIII	七十三	LXXXIII	六十七	XLVII
七十四	LXXXIV	七十四	LXXXIV	六十八	XLVIII
七十五	LXXXV	七十五	LXXXV	六十九	XLIX
七十六	LXXXVI	七十六	LXXXVI	七十	XL
七十七	LXXXVII	七十七	LXXXVII	七十一	XLI
七十八	LXXXVIII	七十八	LXXXVIII	七十二	XLII
七十九	LXXXIX	七十九	LXXXIX	七十三	XLIII
八十	LXXXX	八十	LXXXX	七十四	XLIV
八十一	LXXXXI	八十一	LXXXXI	七十五	XLV
八十二	LXXXXII	八十二	LXXXXII	七十六	XLVI
八十三	LXXXXIII	八十三	LXXXXIII	七十七	XLVII
八十四	LXXXXIV	八十四	LXXXXIV	七十八	XLVIII
八十五	LXXXXV	八十五	LXXXXV	七十九	XLIX
八十六	LXXXXVI	八十六	LXXXXVI	八十	XL
八十七	LXXXXVII	八十七	LXXXXVII	八十一	XLI
八十八	LXXXXVIII	八十八	LXXXXVIII	八十二	XLII
八十九	LXXXXIX	八十九	LXXXXIX	八十三	XLIII
九十	LXXXXX	九十	LXXXXX	八十四	XLIV
九十一	LXXXXXI	九十一	LXXXXXI	八十五	XLV
九十二	LXXXXXII	九十二	LXXXXXII	八十六	XLVI
九十三	LXXXXXIII	九十三	LXXXXXIII	八十七	XLVII
九十四	LXXXXXIV	九十四	LXXXXXIV	八十八	XLVIII
九十五	LXXXXXV	九十五	LXXXXXV	八十九	XLIX
九十六	LXXXXXVI	九十六	LXXXXXVI	九十	XL
九十七	LXXXXXVII	九十七	LXXXXXVII	九十一	XLI
九十八	LXXXXXVIII	九十八	LXXXXXVIII	九十二	XLII
九十九	LXXXXXIX	九十九	LXXXXXIX	九十三	XLIII
一百	LXXXXXX	一百	LXXXXXX	九十四	XLIV

數目
圓、錢、釐、毛、丈、尺、
寸、分、釐、匹、反、里、
町、間、町、段、畝、步、
石、斗、升、合、勺、撮、

斤兩貫匁年日月時度分秒

十干

甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

十二支

子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥

通稱名盡

伊猪亥岩巖一

にも先約有之候間御同行難仕御斷
申上候不惡御承了被下度先は御返
事のみ早々

(類語) 郊東散步の御催し 御誘引に預り 欣拵
の至りに候 御示の刻限迄に必ず參堂可仕候

○暑中見舞の文

酷暑之節御同様に難堪候處高堂愈
御勇健御起居被遊奉賀候此品は備

市磯逸稻幾郁
今伊佐石六八
春初半伴濱仁
平辯辨藤豐寅
虎德篤時留友
富年歲近千代
忠重長利理良
龍柳力林縫乙
音織斧和若嘉
佳克勝兼勘孝
幸甲角鎌龜覺
學剛與米由芳

後親戚の者より送越候に付乍些少
壹瓶御分配申上候消暑の一助に供
し被下候はゞ本懐の至に存候猶尊
体御厭ひ專一に奉祈候頓首

(類語) 炎熱堪難く候處 暑氣酷烈之候凌兼候
貴下の御動靜如何 某地の名産到來に任せ

○同 返事

尊翰拜誦如貴諭炎暑之候貴家益々
御清榮之段奉賀候然れば暑中御見

好、太、多、泰、退、只、
 唯、辰、龍、種、玉、竹、
 武、猛、爲、民、大、團、
 宗、總、惣、津、土、槌、
 常、恒、綱、直、猶、櫓、
 奈、良、浪、仲、宇、卯、
 午、梅、牛、丑、九、國、
 邦、倉、庫、藏、熊、衆、
 寬、軍、楠、彌、安、康、
 保、又、亦、松、万、萬、
 政、益、増、敬、慶、賢、
 健、堅、源、武、文、福、

房、小、五、駒、權、永、
 遠、榮、延、貞、傳、鐵、
 鉄、哲、愛、荒、淺、麻、
 佐、左、才、三、作、定、
 貞、喜、義、儀、金、銀、
 久、休、菊、橋、吉、己、
 道、光、滿、峰、次、七、
 鹿、正、庄、鼻、昌、四、
 新、眞、丈、十、甚、周、
 繁、襄、廣、久、秀、彦、
 茂、元、盛、奎、清、精、
 仙、善、末、捨、太、郎、

舞として遠國之名産御裾分被下難
 有拜味仕候何れ其内拜趨御禮可申
 上候御同前豫防專一に御座候間御
 自愛可然と存候早々

(類語) 芳書披見 御示諭の如く 結構の品御投
 恵に預り 御意に懸させられ 早速拜味仕候 定
 めて佳味に有之候と存候 時候御厭肝要に候

○觀楓に人を誘ふ文

前略御高免扱昨今は小春日和とて

心地爽かに殊に本日は一入暖和に
 覺へ候間午後より箕面へ觀楓行相
 催度候同地の紅葉は頃日見頃との
 事に候間御閑暇に候は、御同車仕
 度先は御誘引まで如斯に候

早々拜具

(類語) 秋景日に深く相成 霜に飽き錦を粧ひ候
 眺望 京阪の名所は某々に候 何れを擇み可申哉
 明日の休暇を幸に出遊致度存候 御同行の諸氏御

次郎、三郎、四郎、五郎、介、輔、助、祐、兵衛、左衛門、右衛門、殿、様、

名乗字盡

巖、出、動、治、春、初、時、秋、虎、敏、銳、俊、年、利、友、伴、雄、夫、男、克、勝、雄、一、數、員、義、慶、良、吉、好、善、可、誠、宜、嘉、

誘ひ合せ 一日の快遊を試み度候

○同 返事

如仰秋氣爽かに本日ほんじつの暖氣だんきは一入ひこしほに候就ては午後ごごより箕面みのおへ出遊しゅつゆ相成候由にて御誘引ごしゆいん被下難あつかた有存候幸さいはひ閑暇かんかにて徒然せぜんに苦み居候際さいゆへ早速御伺申上同行可仕候先は御答迄まて如斯光候早々拜復

佳、由、頼、龍、達、辰、足、高、尊、貴、唯、忠、直、正、喬、猛、武、雄、健、種、胤、任、遠、爲、民、常、恒、綱、繩、行、列、貫、繼、有、保、嗣、續、次、傳、直、尙、成、也、仲、中、長、永、夏、宗、村、宣、延、則、教、德、國、邦、安、保、康、藤、清、潔、公、君、朝、篤、鎮、靜、彦、茂、鎮、

(類語) 爽快さつかいを覺おぼへ候秋色しゆしよく 満山錦まんざんにしきを織成おりなし候景色けしき 出遊しゅつゆには好適こうてきの時節じせつに候 友人ゆうじん兩三輩りやうさんはい誘合しゆあひせ 積日せきじつの鬱氣うつきを散さんじ度 御同伴願上候

○寒中見舞の文

寸緒拜呈逐日寒威相慕り候處御一同益御健勝の段恭祝之至りに存候次に弊堂無異消光罷在候間乍憚御休神可被下候隨而此鴨一番乍輕少進呈仕候間御笑納被下度先は寒中

繁材樹厚重祐
助輔道路峰嶺
平衡豐朝近親
理定貞正政將
加兼金包幸孝
廉門鄉里剛強
博弘文庸持用
芳泰信禮連亮
寬堯光盈滿充
照光光輝昭明
彌亘萬敬敬
賢方堅剛固元

基本起興福福
房師之詮榮愛
典典鞏秋冬佐
三善儀久壽休
質昌耶進晉實
實眞周讓秀英
盛護守術術精
節季範景氏晴
家顯就隆望實
美具視通禧融
轉和叶唱競
靜昉明

御見舞の印まで斯如に御座候敬具

(類語) 寒威凜冽 冱寒難堪之候 平素は御無音

欠禮仕候 些少なから此品進上仕候 御玩味被下

候はゞ幸甚に存候 御受納被下候はゞ本懐の至り

に候

○同 返事

尊翰拜誦如貴諭嚴寒之候に候處御

全家益御健康の段欣喜の至りに御

座候降而拙家一同無恙暮居候間御

安心被下度候扱御念に懸けさせら

れ珍重之品御投惠下され御禮申上

候此品粗末ながら序を以て貴覽に

入れ候御叱留被下候はゞ幸甚に候

先は拜答迄斯如に御座候謹白

(類語) 御示諭の如く 貴家愈御清福 欣賀の至

に候 小生方皆々無事罷在候 不相變御厚情の段

奉謝候 御念頭に懸られ 御答禮まで

○歳末祝詞の文

苗字盡

伊庭、伊藤、伊東、伊地知、伊奈、伊勢、伊澤、飯田、生駒、生野、飯野、飯尾、飯塚、茨木、色川、岩橋、岩田、岩根、岩倉、岩村、岩間、岩手、岩崎、岩見、岩瀬、巖谷、巖、庵地、家原、石川、石井、石上、石田、石神、石橋、

謹呈最早年内餘日も無之御同然多忙の至りに御座候殊に懶惰の小生共塵事一時に相集り今更困却罷在候段御憐察可被下候此經節一連甚た粗末ながら歳晩の御祝儀迄に御目に懸け候御笑留被下度候餘は明春拜顔を得緩々可申述候頓首

(類語)

本年も餘日僅に相成候

嚙御多忙の御事

今井、今泉、家村、糸岡、市川、市田、市口、市場、市邊、市橋、市野、入江、市村、入野、五十川、鶴、一井、一瀬、板倉、板野、板井、磯野、磯田、磯部、磯谷、磯貝、磯崎、磯井、

稻田、稻西、稻井、稻川、稻野、稻葉、稻垣、板垣、稻戸、稻地、稻尾、稻生、今村、今場、

と存候 平素は兎角御無沙汰に打過欠禮仕候 年内は一方ならず御高配に預り奉謝候 御祝詞申述度如斯に候 御出入多き御家 御煩勞と察上候

○同 返事

拜復如仰本年も愈々盡期に相迫り候處益々御多幸奉賀候扱不相變結構なる品御惠贈被下御厚志の段奉深謝候何か御答禮と存候へども御承知の通り多忙の商賣柄に付毎々

今川、今田、今津、今野、今尾、今木、池邊、池地、池尾、池口、池田、池崎、池村、池野、池見、忌寸、忌部、石塚、石場、石部、石津、石野、石澤、石崎、石山、芋瀬、伊勢部、六郷、羽川、羽田、羽間、羽場、羽山、羽生、蜂谷、蜂須賀、馬場、鳩山、秦、秦野、波多野、

粗略ながら砂糖一箱進呈仕候書外
來歳を期し候早々不備

(類語)

玉翰拜誦

愈々歳暮に相成候

烏兔匆々

今年も數日を剩すのみに候 何寄の品御投與被下
是よりこそ御無沙汰に打過て耻入候 何れ來陽
早々御目にかより 萬縷可仕候

(第二) 慶弔文

○新築移轉を賀する文

拜啓豫て御經營中の御新宅愈々落

春田、春村、春山、春木、春本、春水、稿、花房、英、花井、花本、花田、花崎、花野、花里、原、原口、原野、原田、原中、早見、早瀬、早川、速見、濱田、濱野、濱口、濱尾、濱地、濱崎、濱本、濱名、土生、羽生、土師、島山、島中、畑、箱田、箱宮、箱崎、狭間、箸尾、長

成本日御移轉の趣目出度存候殊に
昨今の好天氣萬事御都合宜敷御事
に御座候就ては別函山水畫一軸御
祝の驗まで呈上仕候間御受納被
下度候右一軸は表装古淡に過候へ
ども真績には相違無之由に候間其
邊のみ御賞覽相成度何れ近日參上
御家作拜見可仕候先は祝意申述度

谷、長谷川、長谷部、

仁田、仁木、仁科、仁

禮、新尾、新川、新名、

新納、新田、新居、新

見、新村、丹羽、丹生、

庭田、庭間、鱧川、西

西尾、西川、西田、西

塚、西津、西中、西村、

西浦、西野、西口、西

山、西井、西江、西阪、

西崎、西澤、西木、西

本、星、保科、星野、星

如斯に御座候頓首

(類語) 豫て御建築中の御新宅 天氣都合も宜布

最早發功の由 御移轉の由千萬御祝賀申上候

(類語) 宏壯の御普請と存上候 此花器一對粗品

に候へども 御祝儀の印迄に進呈仕候

○同 返事

拜復豫て御配慮を煩はし候陋屋漸

く落成致候に付本日移轉仕候處早

速御祝章に接し且つ見事の一軸御

合、穂積、穂見、北條、

本田、本多、本間、本

野、堀部、堀尾、堀川、

堀本、細川、細田、細

井、邊見、日置、船松、

外山、外川、外村、土

岐、土井、土木、戸部、

戸田、戸川、戸屋、戸

野、戸山、戸隠、都倉、

遠山、遠田、遠野、轟、

十時、鳥部、鳥尾、鳥

山、鳥塚、鳥居、鳥井、

惠贈に預り御厚意拜謝仕候陋室に

は過分の高品にて大に光輝を加へ

候諸明日は知己諸君を御招待の上

粗酒献呈致度候に付御足勞ながら

午後三時頃より御來車被下候はゞ

幸甚に存候御禮旁御案内迄如此に

御座候謹言

(類語) 豫て御高配に預り候新築 御蔭を以て落
成致候 何寄の品御投與被成下鳴謝仕候 弊屋に

豊橋、豊川、豊田、豊野、殿村、殿田、殿井、殿江、藤堂、東郷、徳大寺、徳田、徳山、徳岡、富田、富井、富本、頓野、千葉、千代田、千束、千町、近田、近内、近井、近本、近野、中條、長、長曾我部、丁野、額田、額井、沼田、沼津、小幡、小川、小笠原、小田、小津

小村、小野、小野川、小野田、小倉、小山田、小崎、小城、小栗、緒方、尾形、尾崎、尾島、織田、織部、鬼塚、多、大庭、大石、大岩、大友、大鳥、鴻、鳳、大和田、大川、大河内、大河原、大沼、大岡、太田、大田原、大谷、大館、大高、大地、大塚、大橋、大原、大

光彩を放ち候 幾久しく家寶として拜納仕候 何の設も無之候へども 御光來待上候

○婚姻を賀する文

今般御良媒を以て御婚儀首尾能被為整候由千鶴萬龜芽出度祝上候御双親様には無御満悦の御事と存候薄儀ながら周魚双尾御祝之驗迄に呈上仕候間御笑納被下度候不日參堂萬賀可申述候敬具

(類語) 昨宵は御婚儀首尾能御整被遊候由 偕老全穴の契り 幾久敷御祝申上候 御一家御繁榮の基 御両親様にも無御安心の御事と奉察候

○出産を賀する文

拜啓昨夜は御今閨無事御分婉被遊御男子御出生の由御母子共御健全と承り何よりの御事に御座候此品輕微ながら御祝の驗迄に拜呈候間御受納被下度何れ不日參堂御歡可

申上候頓首

西、大神、大槻、大辻、大槌、大甲、大武、大村、大内、大井、大野、大野木、大倉、大久保、大窪、大隈、大山、大矢、大牧、大町、大藤、大江、大寺、大崎、大木、大鹽、大島、大澤、大井田、大垣、大越、大洲、大須賀、大隅、大森、大迫、大給、大浦、大岸、大淵、

(類語) 御令閨様昨宵御平産 御健全に御肥立の由、御女子にて御老母様の御悦さこそと存候 豫て御妊娠中の處今曉無事御分産の由 一家御繁榮の基と奉賀候 紅木綿一反御産衣の料にもと進呈仕候

○同 返事

芳簡拜誦昨夜荆妻儀出産致候處早速御祝被下且つ何よりの品御惠贈に預り難有拜納仕候幸に母子共何

大北、音羽、乙木、越智、折田、岡、岡橋、岡本、岡部、岡田、岡村、岡井、岡野、岡山、岡崎、岡本、奥、奥西、奥田、奥平、奥野、奥山、奥本、長川、長田、尾中、尾本、沖、沖津、生田、若尾、若江、若宮、和田、和氣、和久、和井田、鷺尾、鷺津、可部、賀川、狩野、加納、

の障りもなく肥立候間御安意下さるれ度候右御禮迄拜具

(類語) 愚妻分産 荆妻義豫て御案じ下され候處昨日安産 一同満悦仕候 重寶の品御惠投下され母子共至極健全に候

○勲章拜受を賀する文

寸楮拜呈然者貴君には昨年征露役に従軍諸所に轉戦相成候處武運目出度此頃凱旋且つ戦功に依り金鷄

加藤、加茂、甲斐、川端、川勝、川路、川沼、川上、川田、川井、川口、川俣、川淵、川江、川崎、川北、川島、川本、川瀬、河緒、河邊、河内、河津、河原、河村、河井、河合、河野、河西、香川、各務、勝田、勝村、勝井、勝間、勝間田、勝見、勝瀬、葛飾、金橋、金尾、

金輪、金川、金田、金津、金村、金井、金本、高阪、高野、高、向阪、釜谷、鎌田、鎌井、蒲生、垣内、垣田、柿崎、柿本、龜田、龜山、龜井、樫井、樫木、樫本、糟谷、神田、神戸、神野、貝賀、四方、依田、四方田、米田、米津、米村、米倉、米澤、吉原、吉岡、吉川、吉田、

勲章御拜受相成候由御名譽之至り
 奉賀候帝に貴君の名譽なるのみならず
 我が一郷の榮とする所に御座
 候別冊日露戦史全部進呈仕候間御
 笑留被下べく候先は御祝賀申述度
 此斯に御座候敬具

(類語) 昨年来某地の戦争に御出陣 敵壘 肉薄
 なされ 奮闘激戦拔群の功を樹てられ候由 多年
 公共事業に御盡し被下 藍綬褒章御拜受 平和凱

旋の今日 論功行賞ありて 最も名譽ある勲章御
 拜受の由 吾々友人迄も面目を施し申候

○同 返事

尊書拜閱小生義昨春召集今に接し
 直に従軍仕候處我が大君の御稜威
 に由り皇軍到る處連戦連捷遂に今
 日の凱旋を見るに及び然るに此度
 圖らずも微功を録せられ金鷄勲章
 拜受致候段分外の事に存居候早速

吉村、吉野、吉崎、吉見、吉本、芳村、多治見、多賀、多田、多胡、伊達、田畑、田部、田邊、田部、田野、田村、田中、谷、谷村、谷本、高橋、高尾、高田、高野、高倉、高山、高崎、高木、高見、高須、高瀬、高松、龍田、龍村、龍野、種田、種谷、棚橋、多羅尾、玉田、玉

御賞詞に預り且つ何よりの参考書
御送り被下難有受納仕候此上は邦
家の爲め乍不及於骨摧身可致と覺
悟仕候先は貴答旁御禮迄如斯に御
座候謹言

(類語) 小生義幸にして無事歸朝仕候 社會の爲
に盡せし寸功を録せられ寸効もなく耻入候處圖ら
ずも行賞に預り分外に存居候 過分の御賞詞に預
り汗顔の至に御座候 益々一意皇恩に報じ度決心

手、玉澤、珠澤、玉置、
玉木、武部、武田、武
井、武村、竹越、竹澤、
竹本、瀧川、瀧澤、爲
村、曾根、曾我、園部、
園田、津川、津村、津
島、土田、土山、塚田、
塚口、塚本、筒井、恒
岡、恒川、月岡、根津、
根井、名和、長岡、長
井、永井、銅島、中西、
中田、中村、中野、中

仕候

○開店を賀する文

豫て承及候御商業今般愈御開店相
成候由御場所柄と申殊に御熟練の
御營業に候へば日増に御隆盛の御
事と存候此酒一樽聊か御祝儀の印
迄に進呈仕候間御受納被下度候
早々拜具

島、中井、中橋、半井、夏目、伴井、橋崎、那須、那珂、南部、頼、室津、室戸、六人部、陸奥、向井、村上、村田、村井、村木、村瀬、向山、向島、宇田、宇野、宇山、上田、上村、上野、上山、植田、植村、植木、内田、内野、内山、歌川、宇田川、下部、浦川、浦江、浮田、

(類語) 方今の時勢に適したる御商業 御繁榮の御事と今より察上候 御機敏の事故忽ち御熟練薄儀ながら花器一箇進上仕候 尚ほ精々御奮勵可然と存候

○同 返事

花墨拜誦豫て御相談申上居候雜貨商開店に付早速御祝章を賜り且つ結構の品御惠投に預り奉萬謝候何分若輩の事として萬事覺束なく存候

梅川、梅津、梅村、梅本、海野、白井、野呂、野田、野津、野村、野々村、野間、野崎、野本、能美、能勢、井上、井伊、井下、九鬼、工藤、久我、久津見、久世、桑田、栗原、栗田、栗山、倉地、倉川、倉田、倉本、熊川、熊野、隈山、草野、日下、日下部、久米、八尾、矢

間乍此上御教訓に預り度御閑暇の節御來遊御指揮被成下度此上ながら御願申上候御受旁如斯御座候

頓首

(類語) 豫て御話申居候某店相開候處 早速御祝詞被下 且つ重寶の品御贈り被下 今般披露の爲め小宴相開度候間 御來臨被下度 御禮旁御案内申上候 此上とも御引廻せの程願上候 何卒一層御引立に預り度候 何分不馴の業務に候間

部、矢田、矢津、矢野、
 矢島、矢代、柳原、柳
 田、柳井、柳本、山路、
 山地、山縣、山田、山
 根、山名、山内、山崎、
 山岸、山本、藪、間部、
 間野、間宮、間瀬、的
 場、丸橋、丸尾、丸井、
 丸山、股野、前川、前
 田、前野、前島、松尾、
 松川、松方、松田、松
 平、松浦、松村、松倉、

○賀壽の文

御嚴父様には古稀の鶴齡を被爲迎
 壯夫も難及御近狀誠に芽出度奉大
 賀候隨而御祝宴御催の由にて陪席
 被仰付辱奉存上候何れ昇堂壽觴に
 あやかり可申候謹言

(類語) 御尊父様には愈御健勝にて古稀の高壽に
 達せられ 千鶴万龜奉南山候 御孝子の御歡び奉
 察候 御佳招を蒙り欣諾仕候 必ず參堂御童顏を

松島、松本、松木、松
 村、馬淵、益田、増田、
 増岡、毛谷村、武藤、
 淵邊、古川、深見、深
 井、深江、深瀬、船橋、
 船木、藤尾、藤岡、藤
 田、藤村、藤井、藤本、
 福羽、福地、福尾、福
 田、福井、福島、福本、
 古賀、後藤、小出、小
 西、小村、小松、小倉
 根、小寺、小島、兒島、

拜すべく候

○同 返事

家父儀今年七旬の高齡に達し健康
 不衰天幸を享受候段一同欣喜罷在
 候就而は明日聊か賀筵相開度御案
 内申上候處御祝詞に預り奉萬謝候
 別に準備も無之候へども午後三時
 頃より御來車被下度待上申候拜復

已斐、粉川、此村、駒
井、江原、江川、江崎、
江木、遠藤、手塚、手
島、寺西、寺田、寺村、
寺内、寺島、寺本、阿
部、阿野、安達、饗庭、
跡部、跡見、有岡、有
賀、有馬、有本、青山、
青江、青木、赤尾、赤
垣、赤松、赤城、赤井、
穴山、荒川、荒木、天
野、尼子、淺利、淺川、

淺田、淺野、淺井、朝
倉、秋田、秋山、佐波、
佐渡、佐治、佐伯、佐
野、佐橋、佐久間、佐
々木、佐瀬、澤田、澤
村、澤本、榊原、西郷、
税所、西園寺、酒井、
坂部、坂田、佐竹、坂
本、阪井、齋藤、眞田、
更科、笹原、笹川、鮫
島、城戸、吉川、桐野、
清野、清原、木戸、木

(類語) 七旬の齡を加へ幸に健全に候 小宴相催
度存候 御鄭重なる祝詞に預り 別に設備も無之
候へども 二二舞曲を餘興として相催候間 何卒
御來駕被下度待入候 御責臨被下度候

○誕生日に客を招く文

明日は豚兒誕生日に相當り候に付
内祝として親族の者兩三名相招き
候就而は何の風情も無之候へ共粗
酒差上度候間御差支も無之候はゞ

御子達召連午後二時頃より御來車

被下度待上候早々

(類語) 明日は娘の誕生日に付學友四五名相招き

申上候間 小生の誕生日に相當致候間 聊か祝宴
相催度 御多用中御迷惑には存候へども 心許り
の設け致候間 御責臨被下度 御光來待上候

○同 返事

尊翰拜讀明日は御今息御誕生日に
付御招待を蒙り難有存候幸ひ日曜

村、木下、喜多、喜連
 川、北島、北尾、北村、
 游佐、湯川、湯淺、由
 利、由井、結城、毛受、
 三原、三保谷、三輪、
 三井、三田村、三宅、
 三崎、三木、峯内、皆
 川、宮川、宮崎、宮城、
 宮本、壬生、斯波、芝
 川、柴田、品川、鹿田、
 志方、白倉、白井、白
 山、篠原、篠田、篠塚、

日に候間愚息相携へ御示の時刻よ
 り必ず参上御祝申上べく候決して
 御構無之様願上候先は貴答迄
 草々頓首

(類語) 賢息の御誕辰 御令嬢の御誕生日 貴下
 の御生日 御厚志の段奉深謝候 御邪魔仕り忍入
 候へども 子供相連れ参堂可仕候 決して御構下
 されまじく 御示の刻限には必ず拜賀可仕候

○鎮守祭に入を招く文

島田、島津、宍戸、下
 村、檜山、檜垣、日野、
 比企、日高、弘田、久
 松、匹田、姫島、菱田、
 元田、森、森川、森田、
 森井、森本、桃井、百
 瀬、毛利、瀬戸、瀬尾、
 瀬川、關根、關口、首
 藤、須藤、須川、須原、
 周布、陶山、陶、杉田、
 杉本、杉野、

拜啓来る何日は例年の通り當村鎮
 守社祭禮に付不相替何の風情も無
 之候へども若手連の芝居相撲等興
 行の筈にて毎夜稽古に取掛居候間
 御子様方の御一興とも存居候就而
 は御家内御一統にて當日早朝より
 御來車の程待入申候早々

(類語) 土産神社例祭に付 本年は殊に賑敷相營

日本國盡

畿内 五箇國

山城、大和、河内、和泉、攝津、

東海道 十五箇國

伊賀、伊勢、志磨、尾張、三河、遠江、

駿河、甲斐、伊豆、相模、武藏、安房、

上總、下總、常陸、

東山道 十三箇國

候由 例の如く混雜一方に候へども 御子達御携へ宵宮より御入被下候 御泊り懸けにて御出被下度 愚息共も相待申居候

○同 返事

拜復來る何日は貴村の鎮守御祭禮にて御招被下難有存候子供等は豫て御尊致し心待に樂み居候間無遠慮ながら當日早朝より御邪魔可仕候決して御構無之様願上候先は右

御受迄如斯に御座候早々

(類語) 面白き興行有之 子息共樂みに相待申居候 例年御邪魔致し恐入候へども 御示しの刻より參上可仕候

○年回に人を招く文

明日は亡父一周回忌に相當り候間 何の設も無之候へ共心計りの法會營み度候に付何卒御繰合せの上午

茨城、群馬、栃木、奈良、三重、愛知、静岡、山梨、滋賀、岐阜、長野、宮城、福島、巖手、青森、山形、秋田、福井、石川、富山、鳥取、島根、岡山、廣島、山口、和歌山、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、大分、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、

後より御出下されたく奉待上候

拜具

壹岐、對馬、琉球、臺灣、北海道、十二箇國、渡島、渡志、石狩、天鹽、北見、膽振、日高、十勝、釧路、根室、千島、樺太、

府縣名

東京、京都、大阪、神奈川、兵庫、長崎、新潟、埼玉、千葉、

(類語) 心計りの佛事相營み度 粗末の茶飯差上候間 粗齋調進致候間 御用多の中御迷惑に存候へども 遠方御足勞に候へども 御來車下されたく待入候

○天長節に客を招く文

本日は天長の佳節に相當り天氣も麗に旭旗と相映じ御聖德際限無之

石見、隱岐、山陽道、八箇國、播磨、美作、備前、備中、備後、安藝、周防、長門、南海道、六箇國、紀伊、淡路、阿波、讃岐、伊豫、土佐、西海道、十三箇國、筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、大隅、薩摩、

大賀の至りに御座候就而は二三知己相會し雅遊を催し祝意を表し度候間御差合も無之候はゞ何卒即刻御來車被下度右御案内申上候頓首

(類語) 聖壽の賀節無彊事に御座候 豫ての御他約も可有之候へども 友人相待申居候間 詩歌を賦して祝意を表したく 何の設も無之候へ共 御來駕下され候はゞ幸甚に候

○同 返事

近江、美濃、飛彈、
 信濃、上野、下野、
 磐城、岩代、陸前、
 陸中、陸奥、羽前、
 羽後、
 北陸道、七箇國
 若狹、越前、加賀、
 能登、越中、越後、
 佐渡、
 山陰道、八箇國
 丹波、丹後、但馬、
 因幡、伯耆、出雲、

如貴諭今日は天長の祝節に付祝意
 を表し度心組に候處詩歌の雅會御
 催有之小生をも御招下され難有存
 候早速參堂貴席を汚し可申候右御
 受迄如斯に候早々拜答
 (類語) 聖壽の方歳を祝し度 天氣も爽快に秋晴
 心地よく 恰も菊花も満開の好季節 幸ひ先約も
 無之候間 午前中は他へ罷出候へども 午後は歸
 宅に付早速可罷出候

沖繩、臺南、臺中、
 臺北、北海道廳、

日本著名
 地名

東京、八王寺、青梅、
 品川、千住、南千住、
 大森(以上東京府)
 京都、伏見、宇治、淀、
 八幡、山科、笠置、福
 智山、舞鶴、龜岡(以
 上京都府)

○病氣見舞の文

寸書を以て申入候貴兄頃日御病氣
 の趣傳聞致し驚入候昨今の御容体
 如何に候哉此鶏卵一折乍輕微御見
 舞之印迄に呈上仕候御養生の一端
 に御用ひ被下候はゞ本懐の至に御
 座候何れ一兩日中に拜面を得度先
 は以書中御見舞申上候敬具

大阪、堺、平野、住吉、
 天下茶屋、今宮、濱
 寺、岸和田、佐野、
 貝塚、尾崎、富田林、
 八尾、高槻、枚方、
 茨木(以上大阪府)
 横濱、横須賀、鎌倉、
 大磯、小田原、浦賀、
 箱根、戸太、神奈川
 (以上神奈川)
 神戸、兵庫、西宮、
 尼ヶ崎、神崎、伊丹、

(類語) 此頃は御不列の由 御病病の趣 御宿痼
 再發の由 近頃御勝れ無之候哉 御病勢如何 御
 様子如何 此葡萄酒壹瓶御見舞の印迄に進呈仕候
 尚折角御攝養祈上候

○同 返事

御懇書拜見仕候然者小生近頃風邪
 の氣味にて引籠り居候處早速御見
 舞に預り且つ鶏卵澤山御惠投被下
 難有奉拜謝候因より差したる事に

池田、能勢、灘、有馬、
 三田、須磨、明石、
 姫路、高砂、龍野、
 赤穂、三木、社、城崎、
 生野、洲本、岩屋、
 福良(以上兵庫)
 長崎、佐世保、大村、
 島原(以上長崎)
 新潟、相川、高田、
 新發田、沼垂、直江
 津、糸魚川、三條、
 五泉、長岡(以上新

も無之昨夜來大に精神快潤を覺へ
 醫師も此分にては不日全快の趣被
 申聞候間御安意被下度先は御禮旁
 如斯に御座候乍筆草今室へも宜敷
 御鶴聲願上候頓首
 (類語) 毎々御尋を蒙り 御厚情之段奉謝候 御
 蔭にて餘程快氣を覺へ候 決して御心配被下間敷
 候 昨今は大に快方に赴き候 御見舞として結構
 の品御惠贈に預り 奉万謝候 御安意に思召可被

湯たが 川越かはごえ、熊谷くまがや、浦和うらわ（以上埼玉）
 千葉ちば、銚子ちうし、佐原さばら、船橋ふねはし、佐倉さくら、行徳ぎやうとく、流山ながれやま、八幡やわた、東金とうごん、茂原もはら、成田なりた、香取かとり、木更津きさらづ、富津ふつ、館山たてやま（以上千葉）
 水戸みづ、湊みなと、石岡いしがわ、土浦つちうら、結城ゆいぎ、磯濱いそはま、古河こが、鹿島かしま、笠岡かさおか（以

下候

○類焼見舞の文
 昨夜は隣家よりの出火にて貴家御類焼の趣驚入候御一同御怪我もな
 く御立退被成候哉早速驅付可申の
 處生憎他出不在にて其儀を能くせ
 ず遺憾之事に候此品粗末ながら御
 見舞として呈上候間御笑納可被下

上茨木いばらき 前橋まへはし、高崎たかさき、桐生きりう、伊香保いかほ、磯部いそべ、草津くさつ、安中あんなか、富岡とみおか（以上群馬）
 宇都宮うつのみや、栃木とちぎ、足利あしかが、足尾あしお、鹿沼かぬま、田沼たぬま、日光にっこう、小山こやま、那須なす（以上栃木）
 奈良なら、郡山こほりやま、五條ごてう、龍田たつた、三輪みわ、初瀬はつせ、吉野よしの、多武峯たふのみね（以上

候何れ後刻參上御見舞可申上候
ノチホド

早々

（類語） 高堂祝融こうたうしゆくわうの災わざはひに罹かひらせられ候由驚愕仕候
 吃驚致し候 御家族御一統御別條なく御立退の由
 御無難の由安堵仕候 早速驅付可申之處折節他出
 致居り 相應の御用有之候はゞ御申越相成度

○同 返事

拜復昨夕は俄に隣家より火を失し
 終に弊家に類焼家什一切烏有に屬

奈良)
津、宇治、山田、四
日市、桑名、上野、
松阪、田丸、久居、
名張、鳥羽(以上三
重)
名古屋、熱田、豊橋、
岡崎、一宮、鳴海、津
島、清洲、長篠、犬山、
半田(以上愛知)
静岡、濱松、沼津、
島田、大宮、興津、

し殆ど困却仕候乍併皆々無難に立
退候間御安心可被下候早速御見舞
として何寄の品澤山御惠贈被下御
厚情の段忝く拜納仕候餘は拜芝御
禮可申述候早々

(類語) 態々御使に預り御厚意奉深謝候 親族の
厄介に相成居候 重之内漬物澤山に御惠贈被下
何れ其内御禮に可罷出

○洪水見舞の文

御殿場、清水、三島、
熱海、下田(以上靜
岡)
甲府、猿橋(以上山
梨)
大津、彦根、長濱、
八幡、愛知川、鳥居
本(以上滋賀)
岐阜、大垣、高山、
加納、笠松(以上岐
阜)
長野、松本、上田、

本年は近來稀なる出水にて諸所罹
災の報に接し候處貴家には豫て河
岸清雅の御住宅と承及候此際如何
に候哉御氣遣ひ申候早速驅付御安
否御伺可申上候處車馬不通にて其
意を得ず残念に存候定めて其節は
御周章の御事と察上候先は取敢ず
近狀御伺旁御見舞迄如斯に御座候

飯田、諏訪、小諸、

松代(以上長野)

仙台、石巻、野蒜、

秋濱(以上宮城)

福島、若松、白河、

郡山、那須川、平、

二本松、棚倉、三春、

中村(以上福島)

盛岡、釜石、宮古、

花巻(以上岩手)

青松、弘前、八戸、

三戸(以上青森)

早々

(類語)

近年になき洪水の由 諸國出水の報に接

し候 貴宅は川邊の由辱及候 別に御障り無之候

哉御伺申上候 最早減水致候哉

○同 返事

拜復當地出水に付早速御見舞被下
難有存候近年になき大水にて一時
は如何かと案じ居候處小生宅地は
少々高臺に有之幸にも災を免がれ

山形、米澤、酒田、鶴

岡、新庄(以上山形)

秋田、能代、土崎、横

手、阿仁(以上秋田)

福井、敦賀、武生、三

國、勝山、丸岡、阪井、

小濱(以上福井)

金澤、小松、七尾、

輪島、大聖寺(以上

石川)

富山、高岡、新湊、

魚津、氷見、滑川(以

一同安堵仕候唯々家什共取片付居

候事とて兩三日混雜致居候取込中

亂筆御免被下度先は御禮迄如斯に

御座候早々

(類語)

諸水混溢致し市街一面の海と化し候一

時は如何かと相案候處幸にも直に減水致し安堵仕

候 幸にも家人に別條無之 家具も相片付

○大風見舞の文

昨夜の暴風にて貴家御罹災の赴大

上富山
鳥取、米子、境（鳥取）
松江、濱田、杵築、津和野、耳保關（以上島根）
岡山、津山、倉敷、玉島、笠岡、高梁（以上岡山）
廣島、尾道、和庄、福山、三原、吳、宇品、嚴島（以上廣島）

に驚入候乍併皆々様御怪我も無之
御避難被遊候由一先安堵仕候就て
は相應の御用有之候はゞ仰付被下
度乍不及御盡力可仕候先は御見舞
迄不取敢如斯に御座候早々
（類語） 昨宵の大風にて諸所破損の由 貴家は如何に候哉御案じ申候 拙宅も竹垣板屏等大破損致し候へども家屋には別條無之 近村は餘程の害を被り候事と存候

下之關、山口、萩、徳山、三田尻、中之關、岩國、長府（山口）
和歌山、新宮、湯淺、田邊、粉川、橋本、御坊、本宮（以上和歌山）
徳島、撫養、小松島、富岡（以上徳島）
高松、丸龜、觀音寺、坂出、琴平、善通寺、

○同 返事
拜復一昨夜の大風にて家屋破損致し一時親戚方へ立退候へども實際は大破にも到らず修繕の功も有之様被存候間早速立歸り修理致居候然る處早々御見舞被下奉謝候取迄中亂筆御免可被下先は御答禮迄
早々

(以上香川)

松山、今治、宇和島、別子、道後、西條、大洲 (以上愛媛) 高知、宿毛、中村、

(以上高知)

福岡博多、久留米、小倉門司、大牟田、若松、大川、柳川、芦屋、宰府 (以上福岡)

中津、大分、宇佐、

(類語)

家屋大破致し當時は表記の處に假寓致居候 早速新築に取掛り候 幸に家人には怪我も無之皆々無事避難仕候 家財も大抵持運び候 貴家も少々御破損の赴 御同様御周章の事と察入候

○病死報知の文

拜啓愚父儀長々病氣の處養生不相叶本日午前(午後)何時死去致候存生中は不一方御厚情を蒙り候に付此段御報知申上候也

別府、日出、臼杵、佐伯、岡(以上大分) 佐賀、唐津、伊萬里、(以上佐賀) 熊本、八代、水俣、高瀬、植木、人吉、

(以上熊本)

都城、延岡、宮崎、佐土原、高鍋 (以上宮崎)

鹿兒島、谷山、穎娃、揖宿、阿久根、知覽、川邊、垂水、加世田、市來、加治木、出水、喜入、櫻島、坊之津、

追申來る何日午前(午後)何時出棺何町何寺へ埋葬致都合に御座候

(類語)

祖父母 家翁 令弟 長男 次女 久しく病辱に臥居候處 天壽無之遂に逝去仕候 生存中は毎々御尋被下 御厚情奉謝候 明何日何時自宅出棺 某墓地へ送葬仕候

○同 返事

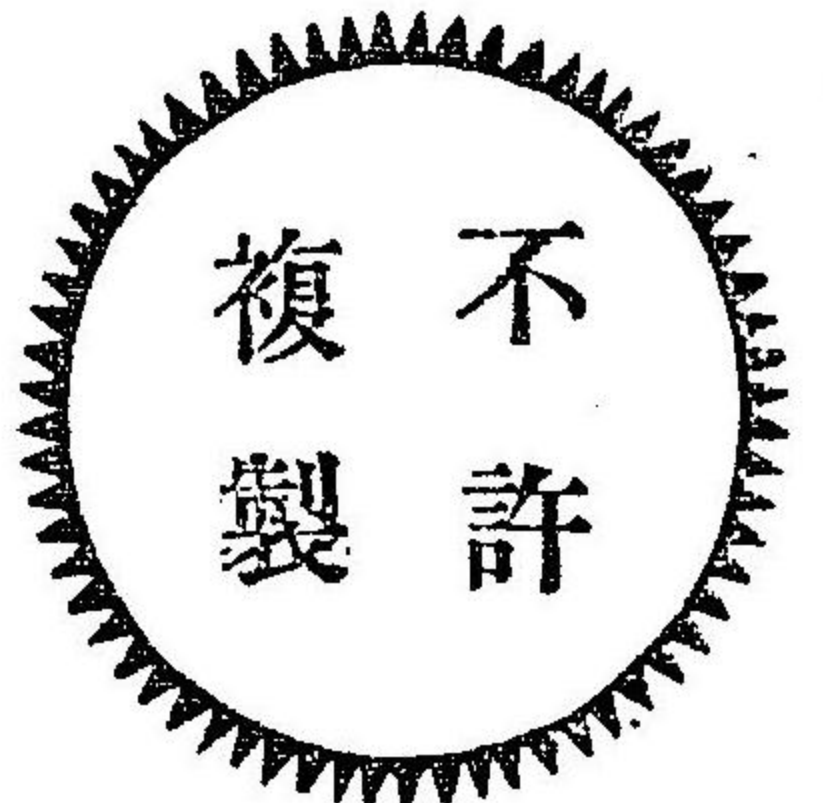
御尊父御儀豫て御病氣の處藥石効

國分(以上鹿兒島)
那覇、首里、運天、
(以上沖繩)
函館、札幌、小樽、
江差、岩見、澤、
根室、瀧川、幌内、
室蘭、福山(以上北
海道)
臺南、臺中、臺北、
基隆、打狗、安平、
新竹、宜蘭(以上臺
灣)
コルサコフ(樺太島)

なく遂に御逝去被遊候赴驚愕仕候
定めて全家御愁傷の御事と察入候
御送葬當日は早速罷出可申候へど
も不取敢御弔詞申述度如斯に御座
候敬具

(類語) 御療養其甲斐なく御逝去の由 皆々様御
落膽の御事と察上候 此上は唯々御佛事御營み可
然と存候
はかき新用文(終)

明治四十二年九月五日印刷
明治四十二年九月十日發行



著作者 富本長洲
發行者 石田忠兵衛
印刷者 堀越幸
大阪市東區安土町四丁目三十八番邸
大阪市西區阿波座二番町一番地

發行所

大阪市東區安土町四丁目 特電話九百三十番
積善館本店
福岡市博多中島町 特電話四十三番
廣島市鹽屋町 特電話三百五十番
積善館支店

259
614

